

NT7000 とは

NT7000 はスタンドアロンでデータロガーとして使用することができ、アナログ入力を必要とする計測ソフトウェアに必要部分を組込むことも出来ます。



入力信号に合わせ、モジュールを選択しシャーシに差込めば自動認識し計測を開始できます。表示は物理演算されデータ保存は演算を行う前の電圧値として保存され再演算が可能で、オフラインで再表示、データエクスポートができます。

NI cDAQ のアナログ系入力と通信系に対応

シャーシ：USB(4,8,14 Slot)、Ethernet(1,4,8 Slot)、Windows コントローラ搭載(4,8 Slot)

※ Ethernet 1slot シャーシは、無線、有線の両方に対応



アナログ系入力

- ユニバーサル 電圧/電流
- 音響/振動 温度
- 電流 電圧
- ひずみ/ブリッジ

通信系

- CAN LIN マルチプロトコル

<https://www.ni.com/ja-jp/shop/compactdaq/compactdaq-modules.html>

カスタマイズ

多くの納入実績で蓄積されたノウハウを基に提案、製作を行わせていただいています。

- ・ 表示、閾値判定、判定によるメール配信、FFT など演算処理、日報などレポート処理
- ・ デジタル入出力（カウンタを含む）、アナログ出力
- ・ 遠隔地での操作、データ収録 別途ネットワーク環境が必要
- ・ データ共有（クラウド対応可能） 別途ネットワーク（クラウド契約）環境が必要



標準の画面と仕様

機能		概要
収録	最大収録時間	データ量および HDD 容量に依存
	収録速度	1 μ s ~ 1s (モジュールに依存)
	収録方法	スタート/ストップのスイッチ、トリガ
ch 設定	演算	4 次式の係数演算
	モジュール設定	モジュール固有の設定を自動認識
	設定の保存、読出し	あり
トリガ機能	トリガ ch	任意の 1ch
	トリガ方法	閾値判定によるレベルトリガ
	プリトリガ機能	あり(プリトリガ時間は収録速度に依存)
データファイル	フォーマット	BIN
	保存データ	全 ch の生データ
	ファイル名	自動 (現在時刻)、手動(現在時刻+文字)
オンライン表示	トレンドグラフ	3 グラフ
		各グラフに任意の 4ch を設定可能
		表示時間：収録速度に依存
カメラ機能 (オプション)	画像サイズ	最大 640 × 480 32bit カラー
	フレームレート	1~120f/s (HDD 書き込み速度とデータ量に依存)
	オフライン表示	あり(アナログ信号に同期して表示)
オフライン機能	データを切出し表示、ch 設定による再演算可能、CSV エクスポート	



仕様は予告なく変更になる場合がございます。

お問い合わせ：TEL 03-4426-5113

太陽計測株式会社 エンジニアリング本部 メジャメントソリューション部